

# こあ・ふれす

NPO法人(特定非営利活動法人)  
**鹿児島県有機農業協会**  
NPO Kagoshima Organic Agriculture Association



〒890-0046 鹿児島県鹿児島市西田 2-11-8 明日ビル2階  
TEL 099-258-3374 FAX 099-258-220  
HP <http://www.koaa.or.jp> E-mail [koaa@koaa.or.jp](mailto:koaa@koaa.or.jp)



## 「思いは深く、10年目の国際オーガニック映画祭 そしてフェスタへ」 副理事長 大和田 明江

国際オーガニック映画祭



初秋というにはまだ暑い9月上旬、協会の普及啓発事業の2大柱、国際オーガニック映画祭が今年も大きな反響の中、幕をとじることができました。



(cafe talkでみなさんと話す副理事長)

市民のみなさんと実行委員会をつくり、半年以上に渡る準備期間を経て、ようやく実現する映画祭も今年で10年目。

このところ何度かお話しているように、この映画祭は、オーガニックフェスタを始めた年、その会場の片隅の小さなテントに暗幕を張って映画の上映をしたのが始まりです。

今や鹿児島発ということで全国に広がるオーガニックフェスタですが、そのきっかけは、有機農業を取り巻く現状を自分たちの手で何とか変えていきたいという切実な思いからでした。

有機認証制度を機に、地域の有機農業を守り発展させることを願って設立した鹿児島県有機農業協会。

しかし、協会の事務局長、専務理事として関わる中、認証制度が先行する日本の有機農業政策に私自身矛盾を感じざるを得ず、有機農業そのものの理解が広がらなければ、生産者も消費者も増やすことはできない。認証業務を担う登録認定機関として何をなすべきか、と思い悩む年月でした。

現場の状況を知ってもらおうと、ことあるごとに農水省にも出かけ、会議の度に発言もし、・・・制度のあり方や運用について改善を求めて、空回りに近い努力を重ねました。

オーガニックという理念は、国を越え、時代を越える新たな価値観として、また新たなライフスタイルとして、国際的な広がりを見せています。

オーガニック・有機農業が、一部の人々のものではなく、もっと多くの人々の暮らしのあり方へと広がることを願って、手探りで始めたフェスタの取り組み。その中に、有機農業の本当の意味や可能性を広めるには映像の力が必要、と主張する声があり、映画祭の一步になったのです。



(会場でランチを食べながら楽しく話し合うひとこま)

あれから10年。紆余曲折を経ながら、フェスタも映画祭も着実に根をおろしつつあります。今回の映画祭の参加者は、のべ815名。

ガーデンズシネマの限られたスペースは多くの方で賑わい、各作品ともほぼ満席状態。アンケートにもたくさんの感想が寄せられ、参加者の熱気と参加意識の高まりが感じられました。

こうした雰囲気の中、上映後作品のテーマについて語り合うトークの時間は予想以上の大盛況。種子法廃止や砂糖の過剰摂取について、共有する時間を作れたことも、主催者としては嬉しく、「これからも続けてほしい」という声に、ともに創る段階に至った映画祭の成熟期を見る思いでした。

(次ページへ)



### もくじ

- |               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| P1 映画祭特集      | P5 新規認定事業者紹介 / パンフレットリニューアル |
| P2 映画祭実行委員より  | P6 有機農業セミナーin 与論            |
| P3 映画祭アンケートより | P7 認証部からのお知らせ               |
| P4 県との話し合い    | P8 オーガニックフェスタのご案内・新職員挨拶     |



例年の悩みの種である立ち席などの苦情を回避するため、今年は予約制とし、無事乗り切ることができましたが、やはり大変なエネルギーを要しました。

ここ数年、ガーデンズシネマをほぼ満杯で回しても収支は厳しく、また、たくさんの方々に観ていただけるように広い会場での上映の取り組みも同時に行ってきましたが、そのバランスも難しく、この先の維持発展については様々な課題があります。



実行委員会や事務局、そして毎回の広告の協力者と、たくさんの方々の献身や協力でようやく成り立つ映画祭。

会員のみなさんにもできる形で是非とも関わっていただき、その思いを少しでもわかしあっていただけだと、この場を借りてお願い致します。

“オーガニックは世界を救う”という言葉があります。

世界がこれだけ経済にひっぱられ悲惨な状況が続く中で、それは楽観的すぎる言葉かもしれません。しかし、経済のグローバル化とともに支配や搾取、富の偏在、資源の占有という資本主義の構造が形を変えて生き続ける中、それを超えるもう一つの道がオーガニックの世界なのです。

等身大の人と人が、未来にいのちを繋ぎ生きていく仕組みづくり。

オーガニックの、健康、環境、公正、配慮という4つの原理を実現するために、人はどうしたら英知を傾け、共に生きていく道を選ぶことができるのでしょうか。

映画祭が終わると、次はオーガニックフェスタ。毎年パンフレット作りに早朝から深夜までLINEやメールを使って意見を闘わす若者たちを頼もしくうれしく思うこの頃です。

オーガニックは世界を変えることができるのか。真価を問われるのはこれからです。



## 「国際オーガニック映画祭に参加して」

映画祭実行委員

福迫真理子

実行委員として関わりながら、毎回素晴らしい映画や仲間たちと出会うことに感謝しています。

(中央、福迫さん。実行委員のみなさんと)

自分の生き方を考えさせられたり、国内外で起こっている食・農・環境の様々な問題を知ることができます。今回は特に、“種子法”の問題に驚きました。これからしっかり考えていきたいと思えます。



友人の感想の中に「あの会場は不思議な雰囲気が出ていて順番に並んでいたら、前後左右のおばあ様、おねえちゃん達が昔からの知己の様に親しげに話しかけてくるんです。」という文章がありました。



毎年の映画祭が少しずつ根つき、一年ぶりに会えた仲間のように感じられる雰囲気が出来ているのだなあと、嬉しくなりました。

それから上映後のトーク会場でも、今見た映画の感想や疑問点を共有したいと思う参加者が多いことにも驚きました。映画を観て、考え、一緒に話をし、共有する。様々な意見を聞き合う場がある。このような映画祭をこれからも大切に続けられたらと思います。

又、映画祭の始めに大和田明江さんの挨拶を聞いた友人が「オーガニックの意味が初めてわかった。」と感激していました。自分が食べるものをえらぶという感覚だけしかなかったことが、地球環境や人間・自然との共存という大きな問題と繋がっていることに気付かされたというのです。理念を伝えることがとても大事だと改めて思いました。



## 映画祭ボランティア学生さんより感想をいただきました！

国際オーガニック映画祭ボランティア

日高七瀬さん

わたしは前から映画についてはバイトをしてみたいと思っていたり、マーケットで販売する側に回ってみることに非常に興味がありました。今回は映画祭、マルシェ、そして農業に実際に携わっている方のお話も聞くことができるということで、自分にぴったり合ったボランティアだと思い、参加しました。スタッフの方々はとても温かく、親切で、祭りのテーマである「オーガニック」に留まらず、映画や農業関連のことなど、様々なお話をしてくださり、私自身も楽しめました。また、農家の方ともお話できたうえ、マルシェを通して「食」の取り組みについて知る貴重な機会でした。



(前列左から3番目 日高さん)



「オーガニック」は、ボランティアの特典で映画を一本見せていただいたことで理解ができたとともに私の新たな関心にもなりました。このボランティアのあと、いろいろカフェやレストランを回っていますが、有機栽培の食材を用いたという表示をあちこちで見かけました。自分の知らないところで、食の安全に取り組まれているところもあるのだと気づきました。さらに、これら全ての経験がきっかけで食の管理に携わっていらっしゃる方に「遺伝子組み換え食品」の取り扱い方について質問したことで、新たな知識も身につきました。一つの経験が次につながるということはこういうことなのかなと実感しています。



「有機栽培」については周りだけでなく、私にとっても身近なものです。その中身・問題については今回のことを経て自分も触れて考えてみたいと思いました。スタッフの方々と共に取り組んだボランティアは、私にとってテーマだけに限らず、非常に有意義で充実したものとなりました。本当にありがとうございました！

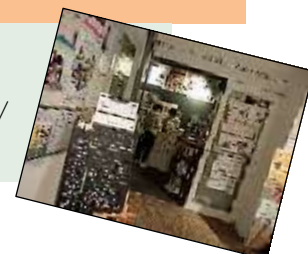


### 映画祭アンケートの声

- ◆シュガーブルースをみて砂糖がこんなにも健康に悪いんだなと思いました。普段の料理でみりん、甘酒などに切り替えていきたいと思いました
- ◆tomorrow よかったです。知らないことの多さに驚き私も何かをしないと！という気になりました。まずは節電や地場野菜を買うなどしたい。
- ◆まだまだやるべきことはあるという言葉響きました。
- ◆オーガニックな暮らしを自分で選択していき健康を維持したい。
- ◆情報が真実かどうかはもう個人で一人一人が目で確かめるしかない時代ですね。素晴らしい企画ですね！
- ◆もっと食品ロスを減らさないとと思いました。
- ◆全6本をみました。こんな有意義な映画祭を10年に渡って継続されたことに先ず何よりも敬意を表します。金曜日にも関わらず毎回ほとんど満席だったことを共に喜びたいと思います。
- ◆GMは日本ではどうなっているのか知りたいです。
- ◆スイーツもお茶もおいしく値段もよかったです。
- ◆「オーガニック」の意味を知ってもらう工夫をするとよいのではと感じた。
- ◆マルシェでもう少し野菜コーナーが多くあるとよかったです！
- ◆主催、講師の方の話をもう少し詳しく聞きたかった。(cafétalk 参加者)
- ◆知っていた(忘れかけていた)話に改めて気付かされドキッとしました。(cafétalk 参加者)

### 作品ラインナップ！(全6作品)

人生フルーツ/ 樹木希林の居酒屋ばあば/0円キッチン/TOMORROWパーマネントライフを探して/シュガー・ブルース家族で砂糖をやめたわけ/モンサントの不自然な食べもの



## Special Thanks !

今年の映画祭はイベントがたくさん！種子法についてや砂糖や添加物についてのトークイベント、ソラニワマルシェも開催！

又、オーガニック和カフェでお出しするお茶を下記の14社よりご協力いただきました！



### 🍵 提供者一覧 🍵

春日園/鬼塚製茶/お茶の美老園/  
屋久島八万寿茶園/株式会社ミタカ  
/合同会社さかもと/宇都口製茶 /  
岡村製茶/株式会社下堂園/ 今吉  
製茶/池田製茶/知覧農園/沢田  
園.



映画を通じて  
仲間ができた♪



たくさんのご参加ありがとうございました！

## 県との話し合いを設けました！

「鹿児島県との協力関係について」

理事 園山宗光

昨年三反園知事にお会いして「鹿児島県の有機農業推進に関する要望書」をお渡しして意見交換をしましたが、その後県内各地域に兼任ではあるものの有機農業の担当職員を配置したという嬉しい話を聞きました。先日は今後県としてどのような推進の取り組みができるのか意見交換をしないと、食の安全推進課から担当の方が当協会に足を運んでいただきました。

協会としては「県との連携と協力に関する協定書」を交わしてはどうかと準備をしていましたが、先方からはまずは県が有機農業推進のために何が出来るかを考えたいという話があり、11月に予定しているオーガニックフェスタに鹿児島県としてブースを出してPRをしたいとの申し出がありました。

その他にも「県と協会が共催でイベントをやっていけばどうか」「新たに就農する人たちのために有機農業の団地を作ってはどうか」など協力に向けた前向きな意見が出されました。今回のことを皮切りに県とは定期的に意見交換を図ることが確認されましたので、実効性のある取り組みができるよう協会としても取り組みたいと思います。



## ◆新規認定事業者紹介◆ 「種子島 島のたべもの」 小野寺 克之さん

### Q1 会社を紹介してください。

会社ではないですが、「種子島 島のたべもの」というブランド名を使って、SNS やショッピングモールサイトを使って、ネット直売をしています。

### Q2 認定を受けようと思った動機はなんですか？

ずばり信頼性を担保するためです。ネームバリューで実績と信頼が認めただけならば、認定は不必要ですが、僕のような新人農家がまずは信用されるためには、このような認証制度は活用すべきだと思いました。ですが、有機 JAS 認定に安心して、顧客からの信頼構築の努力を怠ってはいけなと肝に銘じています。

### Q3 作っている作物、加工している作物はなんですか？

安納芋、パッションフルーツを直売しています。また、ニンニク、ソラマメ、カボチャなども作っています。

### Q4 今後めざしたい事、やりたいこと等をおしえてください。

おいしい野菜や果物を作って、沢山の人の笑顔にしたいです。安心安全は勿論の事、いつでも美味しくて機能性の高い作物を提供していきたいです。

### Q5 最後に自由にお書きください♪

自分は全く農業とは畑違いの世界にいたのですが、農業に興味を持って自分でやってみたいと思った当初から、自然栽培や有機農業に魅力を感じていました。自然界の生態系や環境が生む循環エネルギーを活用するプロセスが、知れば知るほど面白い世界です。

僕は有機農業に「こだわってる」つもりはありません。ただ、この技術は一生かけても飽きない奥の深い魅力があるのだと思います。有機農業はまだ進化する可能性がある分野だと思います。様々な有機農業の在り方が生まれ、それに伴い有機 JAS の精度が高められていけたらいいのではないかと思います。またそのような進化に貢献できる有機農家でありたいと思っています。

住所：鹿児島県西之表市安城 3517

平成 29 年 有機 JAS 認定取得  
販売サイト「種子島 島のたべもの」  
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/shimatabe>



オーガニックフェスタに参加する小野寺さん一家

## 【パンフレット リニューアルのお知らせ！】



協会のパンフレットが新しくなりました！  
好きなところを表紙にできるよう折り目がついています♪  
オーガニックフェスタで一般の方にもたくさん配布して協会をPRします！！  
会員のみなさんも手に取って試してみてくださいね♪



# 有機農業セミナーin与論

2017年7月2日(日)、与論町において有機農業セミナーを開催しました。

会場の与論町福祉センターには約50名の町民のみなさまが集まってくださいました。与論町の人口は約5000人。100人に1人という高い割合で「有機農業」「オーガニック」に興味を示してくださっていることとなります。

「有機農業で生きるわたしたちの選択」「自然と共存する農のかたち」の2本のドキュメンタリー映画の上映後、当協会の大和田世志人常務理事が「有機農業の未来・学校給食事例他」というテーマで講演を行いました。その後、与論島における有機の取り組みの現状、これからの広がりなどについて発表がありました。

会場の一部には展示販売コーナーも設置され、多くの方々が有機食品を買い求める姿が見受けられました。

参加者の方からはたくさんの質問があり、活発な意見交換の場となりました。

映画上映後の講演会の様子

有機食品の展示販売コーナー



## 認証部から

# 業務規程改訂のお知らせ



今年度、当協会は有機 JAS 登録認定機関として登録更新を行います。8月に更新申請書を提出し、現在これに伴う規程等の見直しと改訂を行っています。

大きな変更点として以下の2点をお知らせいたします。

- 🍷 管轄する区域を九州と沖縄に限定していましたが、全国に広げました。
- 🍊 これまでは有機 JAS 認証として、①有機農産物の生産行程管理者、②有機加工食品の生産行程管理者、③有機農産物の小分け業者、④有機加工食品の小分け業者の認定を行っていました。

今後はこれに、①有機畜産物の生産行程管理者、②有機飼料の生産行程管理者、③有機畜産物の小分け業者、④有機飼料の小分け業者の認定を加えます。

新たに開始する有機畜産物及び有機飼料に係る認証の手数料は現在検討中です。詳細が決まり次第、追ってご連絡いたします。

これに伴い、業務規程を以下のように改訂しました。

## 1 事業所の所在地及びその事業所において認証に関する業務を行う区域

(認証に関する業務の区域)

第4条 本会が認証に関する業務を行う区域は、全国とする。

## 2 認証を行う農林物資の区分及び種類

(認証を行う農林物資の区分及び種類)

第6条 本会が認証を行う農林物資の区分は地鶏肉、有機農産物、有機加工食品、有機飼料及び有機畜産物とし、種類は有機農産物、有機加工食品、有機飼料及び有機畜産物とする。

業務規程の全文は当協会のホームページの以下のアドレスに掲載しています。

<http://www.koaa.or.jp/profile/pro03.html>

ただし、最新版への更新は10月中旬以降を行う予定です。

# farmoのご紹介



先日参加しました有機食品等登録認定機関連絡会議の際に配布された資料の中に以下のようなチラシが含まれていました。



平成28年度農林水産省「オーガニック・エコ農産物生産安定供給体制構築事業」の補助を受けた「次代の農と職をつくる会/坂ノ途中」という団体が「farmo」というサービスを開発したそうです。生産者さんとバイヤーさんをつなぐマッチングサイトです。

興味のある方は以下のアドレスをご覧ください。

▶ <https://www.farm-o.net/>

不明な点は上記のサイトに直接お問い合わせください。

## ◆EU 輸出同等性証明書の電子化について◆

EU 向け同等性証明書について、大事なお知らせがございますのでご連絡いたします。

同等性を利用した EU への輸出の際の証明書が電子化されることとなりました。

電子証明書への完全移行は 2017/10/19 0:00 からです。

証明書の作成、発行、承認は全て TRACES NT(ウェブ上)で行われることとなります。その際、EU 側の輸入者においてもアカウント登録が必要です。

TRACES (TRade Control and Expert System)

⇒<https://webgate.ec.europa.eu/tracesnt/login>(海外のサイトに飛びます。)

EU からの指示により登録されると思いますが、完全移行までには登録されるよう、必要があれば輸出業者から取引相手に登録を促す等の対応をお願いします。

(次ページへ)



電子発行システムは、**輸入者のアカウント登録がされていませんと証明書の発行ができません**。電子発行においては不明な点が多く、協会でも現在確認中ですが、詳細が判明しましたら別途お知らせいたします。なおアメリカ、カナダ、スイス、その他の国につきましては、これまで通り紙での証明書発行となります。

◆有機JAS研修会 in 日置市◆

対象：農業関係者、新規就農希望者、有機農業に取り組みたいと考えている方など

日時：2017年11月9日（木）13：30～16：00（参加費無料）

◆有機JAS講習会&フォローアップ講習会◆

（場所：かごしま環境未来館鹿児島市城西 2-1-5）

日時：11月1日（水）10：00-16：30 対象：有機農産物の生産行程管理者・小分け業者

日時：11月2日（木）10：00-16：30 対象：有機加工食品の生産行程管理者・小分け業者

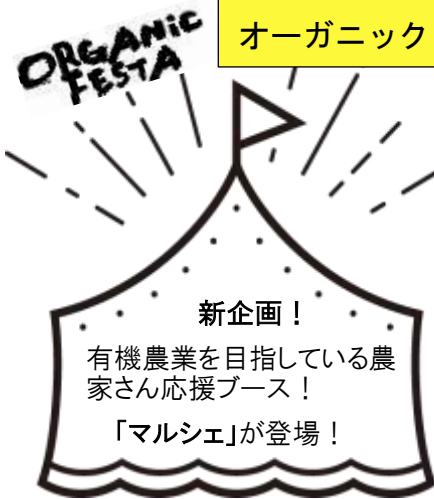
研修会&講習会  
ご案内

※詳しくは同封別紙をご参照ください。

普及啓発  
お知らせ！

10<sup>th</sup> years Anniversary!

オーガニックフェスタかごしま 2017 11月▶▶ 18 (SAT) / 19 (SUN)



記念すべき10回目を迎えるオーガニックフェスタ2017！  
今年是有機農家さんを応援ブースを設け、鹿児島の若手の農家さんがたくさん出店します！

また例年同様100店舗を超えるオーガニックなお店が盛りだくさんです。

皆さまのご来場お待ちしております！

※ポスター、パンフレットが必要な方は協会までご連絡ください。

◎日 時：平成29年11月18日（土）/19日（日）

◎場 所：ドルフィンポート前広場（雨天決行）

ポスター貼ってね！



新職員よりごあいさつ

映画祭で実行委員の皆さんと。



後方右から三番目。

はじめまして！6月末から有機農業協会に勤務しています、井口佳代と申します。請求書発行や総務、イベント担当をしています。11/18（土）～11/19（日）開催のオーガニックフェスタでは、地球にやさしい素敵な方々にお会いできることが今から楽しみです。大好きな有機野菜の素晴らしさをもっと多くの方々に知って頂きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。